

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード	AA0198			
テーマ	健康に過ごすための体づくり、心づくり				
担当者	朝比奈 茂	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月曜日 3限
関連するコース	人間文化コース 環境サイエンスコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 東洋医学およびホリスティックの健康観について、概説し実践できる。 2. 自らの心身について、客観的及び主観的指標を用いて、分析・評価できる。 3. 各自で選んだテーマを調査・分析・発表できる 4. 他人の発表に対して、自分の考え方・意見を述べることができる。 			<ol style="list-style-type: none"> 1. 東洋医学の健康観 2. ホリスティックな健康観 3. セルフメディケーションとは 4. 近代西洋医学の功と罪 5. ヨーガ的な生き方、暮らし方 6. 上記に関連する話題 <p>※ホリスティックとは、全体、関連、つながり、バランスといった語句を抱合する考え方</p>		
授業の進め方					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業のテーマに関する最新情報を毎回提示し、全体的にはディスカッション形式で展開する。 ・ 各自が興味ある「健康に関する話題」について、調査・分析し、発表する。発表した内容について、さらに調査を深め、自らの主張を論じたレポートを各学期の最終講義時に提出する。 ・ 各期に若干名の社会人ゲストスピーカーを招聘して、それぞれの業界の情報を話して頂く。 					
学生の皆さんへのメッセージ					
<p>本研究会は、前提として単なる知識の伝達を行う講義科目ではありません。ディスカッションを中心として講義を展開していきます。従って学生皆さんの積極的な態度が求められます。以前に比べ、知りたい情報はインターネットなどを通じて、瞬時に手に入るようになりました。しかし、入手した情報量が多いため何が正しいか、また何を選択してよいか迷ってしまいます。今後、このような社会情勢は益々多様化、複雑化、高速化すると予想されます。本研究会を修了することで、健康及びセルフメディケーションに対する意識が高まり、正確に物事を選択し、決定できる学生になることを期待しております。</p>					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
各自で決めたテーマについて、図書資料、WEB 資料、聞き取りなどを用いて、調査・分析し、発表に備える。また、参考図書を各自講読する。			授業に対する積極性、課題調査・分析・発表、レポート執筆など、総合的に判断して評価する。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2年生				
<p>募集は、新2年生8名(男子4名、女子4名)とする。 選考は、書類選考及び ZOOM による面接で決定する。</p>					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	無				
備考					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0199	
テーマ	美術・デザインと持続可能な社会					
担当者	板橋美也	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日	3限
関連するコース	人間文化コース		グローバル・サステイナビリティコース			
授業の到達目標			授業のテーマ			
美術・デザイン・ファッション・建築等が社会の様々な課題をどのように反映し、その課題にどのように向き合ってきたのかを理解すること。そして、それを踏まえて、現代社会の課題と、それに対して何がなされているのか・なされるべきかについて、自分の考えを持つことができるようになること。クラスでの発表とその準備作業を通して、資料収集・分析能力や調査内容の概要を報告する能力を養うこと。			美術・デザインと持続可能な社会			
授業の進め方						
<p>(1) 指定したテキストに関する発表とディスカッションを通して、美術・デザイン・ファッション・建築等が社会の様々な課題をどのように反映し、その課題にどのように向き合ってきたのかを考えます。</p> <p>(2) 発表担当者が各自の関心にもとづいて調べた内容の発表をし、それについてゼミ生全員でディスカッションをします。</p> <p>* (1) (2)いずれの場合も、ゼミ生それぞれが自分の考えや疑問点を積極的に発言することが求められます。</p> <p>(3) 場合によっては美術館または建築物などを見学に行く機会を設けたいと思います。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
美術・デザイン・ファッション・建築は、ただ「美しさ」や「センスの良さ」を競うだけのものではなく、人々の生活や社会と分かちがたく結びつき、近代化・産業化・消費文化の功罪、グローバル化の中での異文化受容など、その時々々の様々な課題を反映してきました。持続可能な社会の実現のために、美術・デザイン・ファッション・建築等を通してどのような試みがなされてきたのか、そして現在されているのか、一緒に探求しましょう。また、何らかの芸術についての知識をもち、楽しめるようになることは、その後の人生をより豊かにしてくれます。そのような楽しみを増やせると良いですね。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
文献購読の期間は、全員それぞれの週に指定されたテキストの範囲をよく読んでおき、授業中のディスカッションで自分の考えを述べる準備をしておいてください。また、各自の関心のあるテーマについての研究発表に際しては、主体的に調査を行います。			出席状況・研究会への貢献度（発表の内容、授業中の発言、参加態度など）・レポートから総合的に判断します。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2・3年生					
学習支援システムの「課題」に提出された志望調査票に書かれた志望理由の内容と Zoom での面接を踏まえて選抜を行います。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	無	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード		AA0200	
テーマ	国際平和の追求				
担当者	岡松 暁子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火 曜日 5 限
関連するコース	グローバル・サステイナビリティコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
1. 自分で設定したテーマについて、徹底的に調べ、研究し、発表し、議論することで、 思考力、調査能力、問題解決能力 を身につける。 2. 卒業時には、研究会修了論文を提出する。			国際社会で生じた、あるいは生じている様々な問題を素材として、 国際平和 （国際社会の中の日本、国際紛争の解決、環境問題の改善、人権の保障、よりよい社会の実現）について考える。		
授業の進め方					
専門文献講読、事例研究、個人の研究報告、時事問題に関する討論、ディベート等を行う。 学生による自主的な運営を期待する。適宜、サブゼミを行う（読書会、映画鑑賞会等）。					
学生の皆さんへのメッセージ					
本研究会は2021年度に15期生を迎えます。これまで以上に、 ゼミ生間の縦・横の連携 を強化し、お互いに啓発し合い、学生生活において、 これだけは一生懸命にやると自信を持って言えるもの を持てるようなゼミになればと思っています。 高い目標を掲げ、妥協することなく挑戦する向上心と、何事にも積極的に取り組む姿勢を持った学生 の参加をお待ちいたしております。 少し背伸びをしましょう。質の高いゼミを目指します。 合宿、懇親会等でのOB・OGとの交流も盛んであるため、 卒業生と現役生との結束も強いゼミ です。卒業後も縦横のつながりが長く続いているようです。 なお、2022年度より1年間（または1年半）は、担当教員がイギリス（ケンブリッジ大学、ウィーン大学）にて研究を行う予定であるため、非常勤講師が担当します。適宜、岡松がZOOMによるサブゼミを行います。					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
<ul style="list-style-type: none"> 毎回の予習、報告準備 サブゼミ（読書会、映画鑑賞会等） 研究会修了論文発表会、OBOG会 夏合宿 校外授業（過去の研修先：東京税関、つくば宇宙センター、外務省外交史料館、磯子火力発電所、防衛省、海上保安資料館横浜館、成田空港、米軍基地、東京証券取引所、海洋研究開発機構、等） 			報告、討論への参加、レポート、ゼミへの貢献度		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2年生				
1. 選抜方法：オンライン（ZOOM）面接（教員と現ゼミ生による） ＊詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。 2. 説明会：オンライン（ZOOM）説明会（11/10、5限）を実施 ＊メールによる質問も受付けます。 岡松 暁子（okamatsu@hosei.ac.jp）					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	ZOOMによるオープンゼミおよび説明会（11月10日）の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	有				
備考					
歓送迎会、講演会、懇親会等、不定期に様々な企画有り。					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード		AA0201	
テーマ	海・島に関わる文化的景観とエコツーリズム				
担当者	梶 裕 史	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	金曜日 4限
関連するコース	人間文化コース またはローカル・サステナビリティコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
新規参加者は梶の「環境表象論ⅠⅡ」の内容を、ゼミ合宿として催行する現地調査・体験によって実感的に理解すること。また、沖縄に限らず様々なフィールドの話から、自己の現地体験とのつながりを見つけられ、個々の研究成果を「共有」できるようになること。			日本型エコツーリズムの素材としての「文化的景観」、伝統文化資産ー沖縄の離島をフィールドとして（環境表象論ⅠⅡのシラバスに示された内容は全てテーマ例になります）		
授業の進め方					
<ul style="list-style-type: none"> ・新規参加者は、夏休み（8月末～9月上旬頃）に催す約1週間の沖縄県八重山諸島ゼミ合宿への参加を必修とします（費用は雑費・予備費も含めて約11万）。春学期は、主としてそのゼミ合宿の事前学習。秋学期は、合宿の成果をもとにしたゼミ募集相談会用ポスター作成や、共同発表の準備などに使います。（新型コロナウイルス感染状況により21年度夏も合宿実施が困難な場合は、翌春休みなどに延期します。） ・3、4年生の先輩の発表を聴く時間もつくります。 ・参加2年目以降は、5限登録となります。 					
学生の皆さんへのメッセージ					
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に海が大好きな人、「島の伝統的な文化」と聞いて強く心が惹かれる人、文学・音楽・絵画など広い意味のアートが好きな人、日本の伝統文化・民俗（民間伝承）に深い関心がある人、などはこのゼミと相性がよいと思います。 ・参加2年目以降（金曜5限登録）の個人研究テーマは、環境表象論ⅠⅡの授業内容に関連して自主的に選ばれます。各地における伝統文化を活かしたエコツーリズム、グリーンツーリズム、エコミュージアム、名作の舞台におけるフィルムツーリズム、地域性に根差したアートを活用した地域づくり、五感をクローズアップした「感覚環境のまちづくり」等々です。 ・ゼミ後に、サブゼミや個別指導などを行う場合があります。また、（参加任意で）気軽に交流・親睦を深める機会を定期的に設けます。 					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
随時、グループワーク等の自主的な「宿題」あり			学年末論文、授業中の発言、ゼミ組織への貢献度		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2年（＝現1年）生、12名前後＋新3年生（若干名）				
<ul style="list-style-type: none"> ・応募条件：（適性）現1年生で望ましいのは、環境表象論Ⅰを履修済みか環境表象論Ⅱを履修中で、積極的な興味関心を持った人。未履修でも、同授業のシラバスを読んで興味を持った人は適性があると思われます。現2年生は、環境表象論Ⅰを履修済みでⅡも履修中（または履修済み）であることを条件とします。 ・選抜方法：一次選考→書類（志望票）等。二次→Zoom面接（一次選考結果とともに通知。） 					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ(Zoom)の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	無				
備考					
学習支援システムを通じて、補足情報などをお知らせしますので、興味のある方は仮登録をして、お知らせに注意してください。					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0202	
テーマ	企業/地域の持続的成長のためのビジネスデザイン					
担当者	金藤 正直	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	金曜日 4限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース、ローカル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
経営学や会計学の視点から、 <u>企業または地域の持続的成長のためのビジネスやその経営手法</u> を論理的に考えながら明らかにしつつ、その結果をわかりやすく、丁寧に説明していく能力を習得することを目標とします。			研究対象となる国内外の企業または地域を主体としたビジネスの現状分析を通じて、「 <u>持続的成長とは何か</u> 」、「 <u>持続的成長のために必要とされるビジネスや経営手法は何か</u> 」への解決策を検討していきます。			
授業の進め方						
<p>①研究グループ(RG)の中の1チームに所属します。なお、現在は、<u>6つのRGで11チーム</u>があります。</p> <p>A:産業クラスターRG:フードバレーチーム、災害復興チーム B:CSV 事業 RG:食品・飲料チーム、航空産業チーム、アパレルチーム</p> <p>C:電力開発・廃棄物 RG:再生可能エネルギーチーム、フードロスチーム D:地域産業 RG:地域ビジネスチーム A・B</p> <p>E:エンターテインメント産業 RG:エンターテインメントチーム F:ヘルスケア産業 RG:健康経営チーム</p> <p>※来年度は、<u>新たなRGを作り、先進国と途上国との連携事業に関するグローバル経営研究</u>を強化していく予定です。</p> <p>②所属したチームで、<u>研究計画書</u>を作成していきます。この計画書をもとに行われる文献整理やアンケート調査およびヒアリング調査により、<u>研究対象となる企業または地域のビジネスの現状と課題</u>を明らかにしつつ、その課題への<u>解決策(持続的成長の実現は可能かどうか)</u>も検討していきます。</p> <p>③研究・調査の進捗状況や成果については、<u>異なるチームとの意見交換</u>や<u>中間報告・最終報告</u>を行うとともに、<u>研究・調査レポート</u>または<u>研究会修了論文</u>も作成していきます。</p> <p>※ゼミでは、各チームメンバーのさらなるレベルアップのために、大学院生や事業関係者へのプレゼンテーションを始め、学会、インゼミ、企業イベント、エコプロなどへの参加、合宿(特別ゼミ)なども予定しています。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
経営学や会計学に興味があり、共同作業などの活動に積極的かつ意欲的に取り組むことができ、他人への気配りを大切にできる学生の皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
本研究会では、さまざまな文献を活用し、また、研究対象となる企業または地域の方々への調査(現地調査)なども行いながら、研究の視点、方法、内容を検討していきますので、楽しく前向きに、また、計画的に実施してください。			本演習の成績は次の <u>4点</u> に基づいて評価します。			
			①討論への参加(発言内容)(20%) ②報告用配布レジュメの内容(20%) ③報告内容(プレゼンテーション能力)(30%) ④研究・調査レポート、研究会修了論文(30%)			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	15名程度(新2年生、新3年生の合計人数)を募集します。					
【選抜方法】						
①「研究会志望調査票」と「面接試験の内容」をもとに選抜します。						
②面接試験の日程や可否の結果報告は、ゼミ公式の Twitter と Instagram で行いますので、各自確認してください。						
【その他】						
①研究・調査レポートおよび研究会修了論文の執筆は必須とします。						
②調査先や国内の学会での研究報告や学内外の懸賞論文などへの投稿も行います。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	(有)・無	オープンゼミ開催日時:10月30日(金)4時限/11月13日(金)4時限				
説明会開催有無	(有)・無	説明会開催日時:10月23日(金)5時限/11月20日(金)5時限				
※ZOOMまたはWebexで開催予定です(ゼミ公式の Twitter と Instagram でお知らせします)。						
備考						
オープンゼミに参加される方は、 <u>場の雰囲気(議論の仕方、報告の仕方・聞き方、質問の仕方、質問への対応など)</u> に注目するだけでなく、 <u>議論にも自由に楽しく参加し、また、各ゼミメンバーに対して遠慮なく提案・質問</u> をしてください。						

Twitter: https://twitter.com/kanetoh_zemi

Instagram: [@kanetoh2020azemi](#)

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード	AA0203			
テーマ	持続可能な地域社会の創造				
担当者	小島 聡	開講期	通年	曜日時限	金曜日3限
関連するコース	ローカル・サステイナビリティコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
共通テーマに関する知見、読書力、文章力、プレゼンテーションや討論などのコミュニケーション能力、時事問題を素材とする現代社会への見識、チームとしての協働力、プロジェクトなどの構想力、地域実践の企画運営能力、学外協力者との調整・関係構築力＝大学生としての総合的な能力・「実践知」を涵養します。			持続可能な地域社会への貢献をゼミのミッションとして掲げ、創造的な課題解決を図る地域のソーシャル・イノベーションと、国連で採択されたSDGs(持続可能な発展のための目標)を視野に入れて、環境・経済・社会の諸領域における多様な地域のテーマを統合的に検討しながら、地域実践に取り組みます。		
授業の進め方					
共通テーマでは、大都市、中小都市、農山村など、地域によって多様な「持続可能性」の課題と実践について探究するため、ソーシャル・イノベーション(ソーシャル・デザイン)やSDGsなどの最先端の動向を理解した上で、長野県飯山市、神奈川県横須賀市・川崎市、千葉県香取市、多摩川流域(源流・上流から下流、東京湾まで)など、いくつかの地域をフィールドとして、現地の主体と連携した複数のプロジェクトチームをつくり、ゼミ生が交流人口や関係人口になりながら、調査研究・提言・地域実践を行っていきます。したがって、研究会＝地域シンクタンクやチェンジメーカーとしての役割を果たすラボ(Laboratory)として、社会貢献のあり方を模索します。なお個人研究では、各人が任意のテーマを設定し研究論文を作成します。					
学生の皆さんへのメッセージ					
チーム・ビルディングを図りながら、アクティブ・ラーニングの方法(グループワーク、地域実践、報告書作成、個人テーマの研究等)を組み合わせます。特に、高度な問題発見・解決型学習＝PBL(Problem/Project based Learning)を重視し、地域と連携した実践と地域の課題解決を目的とした調査研究・提言の循環(アクション・リサーチ)をめざします。学内で考え、さらにフィールド実践を通して地域の人々と共に考える「生きた学問」によって、社会に貢献する力を身につけましょう。					
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準		
<ul style="list-style-type: none"> ・文献購読、時事問題の情報収集、書評の作成 ・共通テーマに関する事前のグループワーク ・個人テーマに関する論文執筆のための調査研究 			参加姿勢、共通テーマとテーマへの取り組み姿勢による総合評価とします。		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)					
募集対象学年	2021 年度の新 2 年生、12～14 名程度を募集します。				
(1) 志望書と Zoom 面接により選考します。詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。					
(2) B 研究会の重複履修については、負担過剰を避けるため、スキル系の研究会以外は原則不可とし、両立が可能であると判断できる場合にかぎり、例外的に選考段階で個別に許可を検討します。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会に関する情報の詳細は、学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	有				
備考					
ゼミのこれまでの活動は、説明会や学習支援システム等で提供する情報、SNSなどで確認してください。2021 年度に COVID-19 の影響が続いた場合は、オンライン授業で養ったスキルを活かして、オンライン関係人口の可能性を追求します。もしフィールドに出かけることが可能になれば、オンラインも活かしたハイブリッド関係人口に挑戦します。					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0204	
テーマ		自然環境と災害				
担当者		杉戸 信彦	開講期		通年	※変更可能性有 曜日時限 火曜日 5 限
関連するコース		ローカル・サステイナビリティコース 環境サイエンスコース				
授業の到達目標			授業のテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> - 自然環境の地域的差異とその要因、歴史的変遷を具体的に説明できる。 - 自然環境と人間社会のかかわりあい、とくに自然環境が人間社会に与える影響を具体的に記述できる。 - 調査法や発表法を身につける。 - 地図を活用できる。 			<p>自然環境にかかわる理解と考え方は、持続可能な社会を構築する鍵のひとつです。</p> <p>本研究会では、自然環境そのものに加え、自然環境と人間社会のかかわりあいについて、災害という側面を重視しながら主に自然地理学的な観点から考え、自然環境が人間社会に与える影響や、人間社会のあり方を見つめなおします。</p>			
授業の進め方						
<p>文献講読やグループ研究、個人研究などを行います。キーワードは、自然環境、自然災害、地形環境、地震、津波、豪雨、火山噴火、気候変動、予測、土地条件、土地利用、ハザードマップ、災害の歴史、土地の歴史、防災教育、地域性、メカニズム、歴史的変遷などです。自然環境にかかわる内容をひろく扱います。</p> <p>とくに個人研究は、学生の皆さんの主体的な興味関心と情熱がベースになります。はじめは漠然としていても構いませんが、積極的に学び、意義深いテーマや重要な地域を見出すよう期待します。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>われわれは土地から離れては生きられません。しかし日常生活でこのことを自覚するときはさほど多くないかもしれません。本研究会を通じ、身近な自然環境への意識と関心を持ち、地域性やメカニズム、歴史などを考えてください。本研究会が、地域社会の自然環境がもつ個性を正しく理解し、恩恵を享受する、また高い防災力を有する地域社会を構築する礎になればと考えています。</p> <p>また、地理学的な視点から物事を読み解く力は、将来さまざまな場面で必ず役立つでしょう。</p>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
<ul style="list-style-type: none"> - 毎回の講義で紹介される資料等を使用して予習・復習をする。資料の収集・分析や事前調査、発表準備、発表後の整理、追加調査、とりまとめ等を行う。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。 - 野外実習は 2 回（日曜に実施・研究会 B と合同の場合あり）（状況によってはみあわせます）。 			<p>平常点やレポート等の総合評価（100%）。基準は研究会における取り組みの状況や到達目標の達成度等です。</p> <p>4 年次の年度末には研究会修了論文を提出することとします。</p>			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年		新 2 年生 8 名程度・新 3 年生若干名 * A と B の両者に応募は可だが受講は原則いずれか				
<p>志望調査票に、志望理由と取り組みたいテーマを具体的に記してください。後者は箇条書きでも構いません。選抜を行う場合、志望調査票の記述内容または面接ほかによります。面接の場合の日程調整や受講者確定等の連絡は学習支援システムを通じて行います。</p> <p>今年度までに「自然環境論 I」「同 II」「同 III」「自然災害論」を未履修の学生は来年度の履修を望みます。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無		有（予定）				
説明会開催有無		有（予定）				
備考						
<p>質問等があれば杉戸（nsugito@hosei.ac.jp）までメールをお送りください。</p>						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード	新規募集なし			
テーマ	マスメディア研究				
担当者	ストックウェル・エスター	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月曜日 4限
関連するコース	グローバル・サステナビリティコース、人間文化コース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
<p>This course gives an introduction to current theoretical and practical debates regarding the role of the mass media in today's society. Some of the topics covered include media businesses, the dual role of the media as information source and entertainment, research into short-term and long-term effects of the media, media audiences, and mass communication models. During the course, students will learn how to question the degree to which the media influence us versus how we use the media to fit our preconceived ideas.</p>			* Mass Media Research *		
			<p>The media are everywhere in our industrialized world today. One of the important roles of the media is to extend our knowledge of the environment beyond places and events that we can experience directly. The media can determine our perceptions about the facts, norms, and values of society through selective presentation and by emphasizing certain themes. The media can affect audience conceptions of social reality and also help the audience to form their attitudes toward an issue, a thing or a nation. These concepts will be discussed in this subject.</p>		
授業の進め方					
<p>Classes will consist of a series of short lectures and other visual materials, followed by group and class discussions on the concepts covered in the lectures. In addition, students will be required to prepare for class by reading assigned articles on the topics of the following class. In the first semester, students will mainly learn theory and an overview of the different aspects in mass communication. In the second semester, students will do their own research project regarding mass media effects.</p>					
学生の皆さんへのメッセージ					
<p>「世界」に対する私たちの知識の大半は間接的に得るものです。行ったことのない国や地域にも、何らかのイメージを持っているものですが、そのほとんどはマスメディアを通して得ていると言っても過言ではなく、マスメディアの影響の重大さが想像できます。近年のマスメディアの特徴の一つは情報の提供の速さであり、世界のどこかで何かの事件が起きたら、すぐさま世界中がその事件について大量の情報を得ることができます。しかし、その大量の情報の中から、どれが信頼できるかが重要。それゆえに、我々の意見や態度に大きな影響を与えるマスメディアをより深く研究する必要があります。このゼミは、語学のためではなく、マス・コミュニケーションという分野について英語で学ぶのは目的なので、マスメディアの影響に興味のある方のご参加をお待ちしています。</p>					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
<p>Students will be required to prepare for class by reading handouts and assigned articles on the topics of the following class.</p>			<p>Students are expected to participate actively in class. Assessment is based on weekly class participation, presentations and written assignments.</p>		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	今回は3年生の時にこのゼミに所属している新4年生のみに募集対象学年になります。				
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有・無				
説明会開催有無	有・無				
備考					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0206	
テーマ 「自然環境と人間との共生の未来を探求する」(主に地域環境の視点から)						
担当者		高田 雅之	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	金曜日 3限
関連するコース		ローカル・サステイナビリティコース・環境サイエンスコース				
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>以下の4点を身に付けることを目標とします。</p> <p>①自然環境に関する幅広い知識・見識と柔軟な考え方</p> <p>②設定課題について自らの意見を形成し、表明及び伝達する能力(プレゼンテーション/レポート能力)</p> <p>③他者との議論を通して、異なる観点の意見を受け入れ合意を形成する能力(コミュニケーション能力)</p> <p>④自ら課題を設定し、関連する情報を収集・分析し、体系的にまとめて考察する能力(論理的思考)</p>			<p>自然のもつ奥深い魅力を探求するとともに、生態系や野生生物の理解に基づいて、自然環境を取り巻く諸課題に対し望ましい在り方を考究することをテーマとします。その際、地域の社会や経済との関わりの視点を中心に、国際的視点や他の諸問題との関わりなど、様々なアプローチによって豊かな発想力を養います。研究会を通して多様な知識による基盤を作り、その上に各自の問題意識を組立て、修了論文を目指します。</p>			
授業の進め方						
<p>生物多様性保全、生態系・野生生物と人間の社会経済との関係などをテーマに以下のことを実施します。</p> <p>①グループワークをとおして、設定課題について調査・考究し、成果を取りまとめます</p> <p>②個人学習によって、設定課題について情報整理・企画立案し、成果を発表します</p> <p>③野外学習/ゼミ合宿とサブゼミ学習を通じて、市民活動/企業とのコラボやフィールドに学び、企画力・実践力・分析力を養います(※サブゼミ学習は大きく3つのテーマに分かれています:「緑地」「水辺」「生物」)</p> <p>④自らの研究テーマを設定し、情報収集と調査、分析と考察を重ね、最終的な修了論文作成につなげます</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>研究会が皆さんにとって有意義となるか否かは、個々人の自発性と創造性にかかっています。そのため、ゼミ活動への参加意欲と全体への貢献意識の高い人、また週末に行う野外学習や合宿に積極的に参加し、サブゼミ学習に意欲的な人を歓迎します。自然環境を取り巻く様相は多面的でどれも答えのないテーマです。ゼミではそんな問題に挑み続けます。「生物多様性」は私達の生存に関わり、これからの社会を生きるのに不可欠な「探求力」と「発想力」を身に付けましょう。</p>						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
<p>設定課題に対して、事前調査、資料作成、発表準備などを行ってまいります。また週末等に行う野外学習/合宿、サブゼミ活動への積極的参加を要件とします。</p>			<p>提出物の内容と期日遵守の他、学習意欲、受講態度、グループワークやサブゼミ活動への貢献、野外学習への参加、ゼミ運営への貢献等を総合的に評価します。</p>			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2年生					
<p>募集人数: 来年春に新2年生となる人を10名程度</p> <p>選考: 選考は書面及び面接(ZOOM)により行いますので、志望調査表には、志望理由のほかに「関心のあるテーマ(複数可)とそれに対する自分の意見」「ゼミで何を得たいか」「その他自己PRなど」を記載してください。</p> <p>2つのAゼミを併願する場合は、必ずそれぞれに志望調査票を提出して下さい。</p> <p>選考に関する連絡については、学習支援システムでお知らせしますので随時確認して下さい。</p> <p>その他: 2021年度に「自然環境政策論Ⅰ(春期)及びⅡ(秋期)」を必ず履修していただきます。また「サイエンスカフェⅢ(生態学)」(春期)及び「自然環境論Ⅳ」(秋期)の履修も推奨します。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システム にてお知らせしますので				
説明会開催有無	有	仮登録の上で確認してください。いずれも ZOOM で行います。				
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0207	
テーマ 「自然環境と人間との共生の未来を探求する」(主に国際的な視点から)						
担当者		高田 雅之	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	金曜日 4限
関連するコース		グローバル・サステイナビリティコース・環境サイエンスコース				
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>以下の4点を身に付けることを目標とします。</p> <p>①自然環境に関する幅広い知識・見識と柔軟な考え方</p> <p>②設定課題について自らの意見を形成し、表明及び伝達する能力(プレゼンテーション/レポート能力)</p> <p>③他者との議論を通して、異なる視点の意見を受け入れ合意を形成する能力(コミュニケーション能力)</p> <p>④自ら課題を設定し、関連する情報を収集・分析し、体系的にまとめて考察する能力(論理的思考)</p>			<p>自然のもつ奥深い魅力を探求するとともに、生態系や野生生物の理解に基づいて、自然環境を取り巻く諸課題に対し望ましい在り方を考究することをテーマとします。その際、<u>国際的視点や海外事例</u>を中心に、加えて地域の社会経済や他の諸問題との関わりなど、様々なアプローチによって豊かな発想力を養います。研究会を通して多様な知識による基盤を作り、その上に各自の問題意識を組立て、<u>修了論文</u>を目指します。</p>			
授業の進め方						
<p>生物多様性保全、生態系・野生生物と人間の社会経済との関係などをテーマに以下のことを実施します。</p> <p>①<u>グループワーク</u>をとおして、設定課題について調査・考究し、成果を取りまとめます</p> <p>②<u>個人学習</u>によって、設定課題について情報整理・企画立案し、成果を発表します</p> <p>③<u>野外学習/ゼミ合宿とサブゼミ学習</u>を通じて、市民活動/企業とのコラボやフィールドに学び、企画力・実践力・分析力を養います(※サブゼミ学習は大きく3つのテーマに分かれています:「緑地」「水辺」「生物」)</p> <p>④自らの研究テーマを設定し、情報収集と調査、分析と考察を重ね、最終的な<u>修了論文</u>作成につなげます</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>研究会が皆さんにとって有意義となるか否かは、個々人の自発性と創造性にかかっています。そのため、ゼミ活動への参加意欲と全体への貢献意識の高い人、また週末に行う野外学習や合宿に積極的に参加し、サブゼミ学習に意欲的な人を歓迎します。自然環境を取り巻く様相は多面的でどれも答えのないテーマです。ゼミではそんな問題に挑み続けます。「生物多様性」は私達の生存に関わり、これからの社会を生きるのに不可欠な「探求力」と「発想力」を身に付けましょう。</p>						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
<p>設定課題に対して、事前調査、資料作成、発表準備などを行ってまいります。また週末等に行う野外学習/合宿、サブゼミ活動への積極的参加を要件とします。</p>			<p>提出物の内容と期日遵守の他、学習意欲、受講態度、グループワークやサブゼミ活動への貢献、野外学習への参加、ゼミ運営への貢献等を総合的に評価します。</p>			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年		新2年生				
<p>募集人数: 来年春に新2年生となる人を 10名程度</p> <p>選考: 選考は書面及び面接(ZOOM)により行いますので、志望調査表には、志望理由のほかに「<u>関心のあるテーマ(複数可)</u>とそれに対する自分の意見」「ゼミで何を得たいか」「その他自己PRなど」を記載してください。</p> <p>2つのAゼミを併願する場合は、必ずそれぞれに志望調査票を提出して下さい。</p> <p>選考に関する連絡については、学習支援システムでお知らせしますので随時確認して下さい。</p> <p>その他: 2021年度に「自然環境政策論Ⅰ(春期)及びⅡ(秋期)」を必ず履修していただきます。また「サイエンスカフェⅢ(生態学)」(春期)及び「自然環境論Ⅳ」(秋期)の履修も推奨します。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無		有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システム にてお知らせしますので			
説明会開催有無		有	仮登録の上で確認してください。いずれも ZOOM で行います。			
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0208	
テーマ		文化人類学の視点から文化を探る				
担当者		高橋五月	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 4 限
関連するコース		人間文化コース（場合によってはグローバル・サステナビリティコース選択も可能ですが、人間文化コースの科目履修との両立を奨励します。教員に相談してください。）				
授業の到達目標			授業のテーマ			
1) 文化人類学についての基本的な理解を得る、2) エスノグラフィーの知識と実践スキルを得る、3) 学術的議論を応用し、身近な社会問題や文化的営みについて具体例を交えながら自分の考えを述べるができる、4) 文献研究、研究発表、論文作成のスキルを得る。			テーマは文化人類学的視点を用いて身近な社会問題や文化的営みを調査研究することです。調査手法はエスノグラフィー（人の話を聞き、行動を観察し、分析・記述する）を用います。調査対象は自由（例：女子会、演劇、復興、ホスピタリティ、アイドルファン、等々）			
授業の進め方						
本研究会は大きく分けて3つの活動で構成されます。 ① 文献リーディング: 調査対象地、調査テーマ、エスノグラフィーに関連した文献を講読し、意見交換。 ② 現地調査: 各自が選択した研究テーマで調査計画書を作成し、実際に現地調査を実行し、発表する。 研究分析と論文作成: 現地調査で得たデータを分析し、研究論文を作成し、発表する(4年生は卒論を作成)						
学生の皆さんへのメッセージ						
高橋 A ゼミは卒論提出が必須です。A ゼミ生は 3 年生と 4 年生で構成されていて、内容は主に卒論研究に向けた準備です。高橋ゼミの「核」は文化人類学的視点ですが、学生が取り組む卒論研究テーマは多種多様です。その為、ゼミでは自分の研究テーマだけでなく他のゼミ生が取り組むテーマに関連する文献講読や意見交換にも積極的に参加します。自分とは異なる研究テーマに取り組むゼミ生と意見交換することで自分の視野が広がる楽しさを味わうこともゼミの醍醐味です。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
関連文献の講読、文献感想文、ファシリテーター、調査準備、現地調査、発表準備、論文作成			平常点（意見交換への参加など）、フィールドワーク、プレゼンテーション、文献感想文や論文による総合評価			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年		新規募集は 2021 年度新 4 年生のみ(若干名)				
* 2021 年度新 4 年生でかつ 2020 年度の高橋 B ゼミを受講している学生のみ応募可能です。 * 志望調査票には現時点で興味のある卒論研究テーマについても述べてください。 * 面接は、日程調整を行い、Zoom で実施します(Hoppii から配信するお知らせメールを忘れずにチェックしてください)。 * 2021 年度までに「環境人類学 I」「同 II」「同 III」の 2 科目以上を履修することを奨励します。 * 2022 年度は高橋がサバティカルによる不在で卒論指導を行うことができません。そのため新 3 年生の募集は行いません。 新 3 年生でエスノグラフィーを学びたい方は、1 年間限定となりますが是非 B ゼミに応募してください。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無		有	オープンゼミの情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。個別の質問等は高橋 <stakahashi@hosei.ac.jp> まで連絡をください。			
説明会開催有無		無				
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0209	
テーマ 「持続可能な社会を求めて：途上国の人々と先進国の私たち」						
担当者		武貞 稔彦		開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限
金曜日5限						
関連するコース		ローカル・サステナビリティコース グローバル・サステナビリティコース				
授業の到達目標				授業のテーマ		
<p>本研究会では、(ア)持続可能性(もしくは開発と環境)をめぐる議論を広い視野から捉え、(イ)自らの意見を持ちそれを人に伝え、(ウ)途上国、先進国を問わず、将来の持続可能な社会の姿を自らの価値観に基づき想像/構想できるようになることを目標とします。</p>				<p>2021年度は、「貧困」がテーマです。途上国のみならず、日本でも近年課題となっている「貧困」について、多面的な理解と今後の解決への展望を考えます。(なお2022年度は「支援」、2023年度は「環境」を通年のテーマとする予定です。)</p>		
授業の進め方						
<p>主に a)基礎文献の精読、b)与えられた課題に関する個人またはグループによる調査とグループディスカッション、c)参加者の意見表明の機会、などからなります。受講者の積極的な提案に基づき、演習の方法等は随時見直しを行います。(なお、授業とは別にサブゼミが金曜日6限に学生の自主活動として実施されています。ただし2021年度以降のサブゼミの曜日時限などは変更があり得ます。)</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>以下のキーワードに強い関心のある人の応募を期待します。【途上国、貧困、援助/支援、環境、正義、社会】 演習参加者に最も求められるものは知識や学力ではなく「コミットメント」と「他者への配慮」です。教員としては、ゼミへの時間通りの出席および事前の予習は当然のことと考えますので、それらの要求に応えられない人の応募は望みません。</p> <p>とりわけ将来、国際協力や途上国開発にかかわる仕事に就きたい人、途上国を中心とした異文化と関わりながら国際的な舞台で仕事をしたい人は積極的に応募を検討してください。</p>						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)				成績評価基準		
<p>基礎文献、与えられた課題は必ず熟読して演習に臨むこと。関連して紹介された参考書なども出来る限り目を通すこと。必要に応じてゼミ外でもグループなどで積極的に集まり、課題について議論する機会を設けること。</p>				<p>研究会での議論への貢献、必要なレポート、その他研究会運営における貢献などを総合的に勘案します。</p>		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年		<p>新2年生7、8名程度。 新3、新4年生の応募も可。(参加実績は有ります。)</p>				
<p>* 4年次に研究会修了論文を執筆します。 * 他研究会Bとの重複履修は認められます。負担が心配な人は教員に個別に相談してください。 * 応募者多数の場合は、志望調査票の精査、面接等を通じた選考を行います。選考方法およびスケジュールについては、学習支援システムを通じて連絡します。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無		有				
説明会開催有無		有				
<p>オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。</p>						
備考						
特になし。						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード	AA0210			
テーマ	「ヨーロッパと近現代日本の思想・文化・社会」				
担当者	竹本 研史	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月 曜日 5 限
関連するコース	(◎)人間文化コース (○)グローバル・サステナビリティコース				
授業のテーマと授業の到達目標					
<p>現代社会の問題を考察するために必要な、自由、人権、民主主義、平等、所有、他者、差別、権力、平和、労働、貧困、正義、ジェンダー、セクシュアリティなどといった諸概念は、これまでの長い思想的・文化的な伝統のなかで数多くの議論が積み重ねられてきた。</p> <p>本研究会では、ヨーロッパや近現代日本の文化や芸術、社会について、人文系の文献や芸術作品の分析を通じて、上記諸概念に関する歴史的議論の内容と背景</p>			<p>および表象のあり方などを理解し、それらの現代社会における意義を考察すること、さらにはゼミでの学習や講義、社会連携科目、自身の個人研究を通じ、テキストの読解力をつけ、知見を広め見識を深めることによって、最終的には、4年生の最後にその学生にしか書けない立派な研究会修了論文を完成させることを目標としている。</p> <p>2021年度は、「文化とは何か？」をテーマとする。</p>		
授業の進め方					
<p>(1) ヨーロッパや近現代日本の文化や芸術、社会に関する文献講読・芸術作品分析+秋学期の個人研究発表。 (2) 学期に1回、事前学習のうえ、映画館・美術館・博物館、劇場、コンサート・ホールなどでプチ FS。 (3) ゼミ合宿もしくは遠方にて調査 (2)、(3)は Covid-19の感染状況が収束していることが前提)。</p>					
学生の皆さんへのメッセージ					
<p>担当者の専門は 20・21 世紀フランス語圏の社会哲学・思想と文学だが、<u>古代から現代までのヨーロッパ、および近現代日本の文化や社会に関心がある方であれば大歓迎。ゼミ生のこれまでの研究テーマも多岐にわたり、各人が我が道を行っている</u> (ゼミ生のこれまでの研究テーマについては学習支援システム掲載資料を参照)。</p> <p>歴代のゼミ生たちはみな、入った当初こそ荒削りだが、3年の秋を過ぎると、それぞれの研究テーマを極め始め教師など軽々と乗り越え去ってしまう。だがそれこそが、ゼミを主宰する教師の最大の醍醐味に他ならない。</p> <p>現段階で知識の多寡は全く問題ではない。重要なのは、課題を誠実にかつ確実にこなすこと、そして、これを問わねば生きていけないという、各人にとって切実なテーマを深く追求していくこと、ただそれだけである。</p>					
授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)			成績評価基準		
<p>(1) 授業で扱う文献は熟読のうえ、疑問点を整理し、専門用語などは事前に調べておくこと。 (2) 日頃からとにかく本を読むこと。映画、美術、音楽、演劇、ダンス、バレエ、マンガ、スポーツ、キャンプ、落語、お笑いなどを積極的に鑑賞、観戦、実践すること。 (3) 人文・社会科学分野の文献を数多く揃えている書店や古本屋、図書館に足しげく通うこと。</p>			<p>以下により評価する。 (1) 2、3年生は、授業中に年間2回の発表と積極的な議論への参加、夏・冬2回の期末レポートと2ヶ月に1度のブック(映画)・レポート提出。 (2) 4年生は、授業中の積極的な議論への参加、および、研究会修了論文の中間報告、論文の提出。6月まで月1回のブック(映画)・レポート提出。4年生は研究会修了論文の提出が必須である。</p>		
募集にあたってのお知らせ (選抜方法・その他)					
募集対象学年	新2年生:4、5名、新3、4年生:若干名(ただし、竹本の授業を履修したものに限り)				
<p>志望調査票とズーム面接により選抜。選考にあたり志望調査票の記載内容はゼミ生にも共有される。</p> <p>B ゼミや ILAC の教養ゼミとの掛け持ち、自分の専門に関連した他学部公開科目などの受講を積極的に奨励する。また4年次進級までに、「現代思想と人間 I・II」で最低2単位以上を修得しておくこと。</p>					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認のこと。			
説明会開催有無	有				
備考					
その他、質問があれば、竹本までメールなどで連絡すること。					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0211	
テーマ	世界と日本の生活保障——社会福祉と市民社会					
担当者	辻 英史	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5 限	
関連するコース	ローカル・サステナビリティコース 人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>グローバル化と新自由主義経済の拡大により、日本を含む世界各地で格差社会化が進み、多様な生き方が可能になる反面、貧困や孤立の問題が大きくなっている。</p> <p>非正規雇用の拡大や失業による貧困の連鎖、病気や加齢・子育てといったライフイベント、さらには紛争や災害のために生活が不安定化してしまった人々を、どのように支え、地域社会やコミュニティに統合・包摂していくのか、それぞれの社会で模索が続いている。</p>			<p>このゼミでは、ヨーロッパおよび日本を中心に、社会的な弱者の生活を支えるために、どのような試みがおこなわれてきたのかを、それぞれの地域の事情に即して比較して考察します。医療や介護、就労、成人教育、出産・育児といったさまざまな生活局面について、社会福祉に関する行政や法律・制度だけでなく、人間相互の助け合いのあり方(「連帯」)やNPO・NGO といった市民社会の活動を含めて幅広く扱います。2021 年度のテーマは<国家と市民社会>です。</p>			
授業の進め方						
<p>このゼミでは、以下のメニューを実施します。</p> <p>① 文献購読: テーマに関連する重要文献(主として日本語)を講読する。</p> <p>② グループワーク: 参加者各自の関心に応じてグループに分かれ、調べた内容を報告する。</p> <p>③ ディベート: ゼミのテーマに関連した内容についてグループ対抗でおこなう。</p> <p>④ サブゼミ: 卒論報告の準備およびグループワークのため隔週で開催する(主として春学期)。</p> <p>⑤ 卒論報告: 研究会修了論文に向けて、準備状況を報告する(随時・4年生のみ)。</p> <p>⑥ ゼミ合宿・遠足: 年 1 回程度開催する予定です(新型コロナウイルス感染症の状況と大学・学部の方針にのっとり決めます)。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>研究会は、授業時間の中で終わるものではありません。毎回の研究会に出席するだけでなく、そのほかに時間をかけて自分の関心を深め、準備をすることが必要です。知識を増やし、世界を広げることに喜びを感じるような人を歓迎します。また、この研究会では 4 年次の研究会修了論文執筆は必須です。</p>						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)				成績評価基準		
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト購読 ・グループワークの準備 ・ディベートの準備 ・ゼミ合宿の準備(実施の場合) 				<ul style="list-style-type: none"> 議論への参加、発表・報告 調査報告(春学期末)、レポート(秋学期末) 		
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新 2 年生: 7 名程度 新 3 年生: 若干名					
<p>参加希望者は、上記の研究会のテーマに関連して、自分が現在どのような関心を持っているかを、志望理由書に記入すること。記入内容にもとづいて面接を実施しますので、学習支援システムに注意してください。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0212	
テーマ	外国企業の英文 CSR 報告書を読む					
担当者	永野秀雄	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 2限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース グローバル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
①4年生で研究会修了論文を書く力をつけること、②文献読解を中心とした英語力を身につけること、③英検準1級の取得と、④水質関係第1種公害防止管理者試験等の資格の合格を目標としています			この研究会は、環境監査法務の基本を学ぶものです。英文で書かれた世界的企業のCSR報告書を読みます。			
授業の進め方						
ゼミ生が班を編成して、班ごとの発表が行われます。合宿は、春・夏の2回で、ディベートとスピーチ訓練、および、3・4年生による研究論文等の発表が行われます。 また、3年生に対しては、4年生および卒業生による就職指導を行っています。コンパは年4回ほどあり、OBOG会も開催されています。						
学生の皆さんへのメッセージ						
この研究会で勉強する内容は、質・量とも、かなりのものがあります。自分1人で同じ内容を勉強して成果を出すことは、かなり難しいと思います。しかし、本研究会に所属すれば、運動部での練習のように、先輩・同期と一緒に努力することで達成が可能になります。 本研究会において、これらの課題に正面から取り組み、自分を鍛えれば、卒業後、自分が納得しうる就職ができると思います。本研究会の卒業生からは、「人生を変えたゼミ」と評価して頂いています。本研究会の卒業生は、現在、世界6カ国に駐在して活躍しています。元気と意欲のある方の応募を期待しています						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
ゼミの発表準備に加え、基礎力を固めるために、①実践ビジネス英語の暗誦、②Japan Times1面の訳、③日経新聞「きょうのことば」の記憶、④英語スピーチのシャドウイングを毎回のサブゼミ課題としています。			平常点のみです。春学期・秋学期とも、それぞれ3回以上欠席したり、発表準備・課題を行ってこなかったりした場合には、単位をあげることはできません。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2年生。					
新2年生（現1年生）を募集します。募集人数は、この2限のゼミで8名前後です。2限と4限のゼミの内容は同じですので、いずれかを希望して下さい。応募は、Hoppiiで[2021年度応募用]研究会Aで、2限と4限の両方を受け付けます。 選考は、応募者に対して4年生数名が主体となってZoomで面接しますので、自己紹介と志望理由について、合計3分でスピーチしてください。面接の日は、応募〆切の後、数日以内にHoppiiに掲示しますので、必ず確認して下さい。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						
オープンゼミは、複数回実施します。参加を希望される方は、前日までに、私まで、学籍番号と氏名、参加を希望する日と時限をメールでお知らせ下さい。						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0212	
テーマ	外国企業の英文 CSR 報告書を読む					
担当者	永野秀雄	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 4 限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース グローバル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
①4年生で研究会修了論文を書く力をつけること、②文献読解を中心とした英語力を身につけること、③英検準1級の取得と、④水質関係第1種公害防止管理者試験等の資格の合格を目標としています			この研究会は、環境監査法務の基本を学ぶものです。英文で書かれた世界的企業のCSR報告書を読みます。			
授業の進め方						
ゼミ生が班を編成して、班ごとの発表が行われます。合宿は、春・夏の2回で、ディベートとスピーチ訓練、および、3・4年生による研究論文等の発表が行われます。 また、3年生に対しては、4年生および卒業生による就職指導を行っています。コンパは年4回ほどあり、OBOG会も開催されています。						
学生の皆さんへのメッセージ						
この研究会で勉強する内容は、質・量とも、かなりのものがあります。自分1人で同じ内容を勉強して成果を出すことは、かなり難しいと思います。しかし、本研究会に所属すれば、運動部での練習のように、先輩・同期と一緒に努力することで達成が可能になります。 本研究会において、これらの課題に正面から取り組み、自分を鍛えれば、卒業後、自分が納得しうる就職ができると思います。本研究会の卒業生からは、「人生を変えたゼミ」と評価して頂いています。本研究会の卒業生は、現在、世界6カ国に駐在して活躍しています。元気と意欲のある方の応募を期待しています						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
ゼミの発表準備に加え、基礎力を固めるために、①実践ビジネス英語の暗誦、②Japan Times1面の訳、③日経新聞「きょうのことば」の記憶、④英語スピーチのシャドウイングを毎回のサブゼミ課題としています。			平常点のみです。春学期・秋学期とも、それぞれ3回以上欠席したり、発表準備・課題を行ってこなかったりした場合には、単位をあげることはできません。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2年生。					
新2年生（現1年生）を募集します。募集人数は、この4限のゼミで8名前後です。2限と4限のゼミの内容は同じですので、いずれかを希望して下さい。応募は、Hoppiiで[2021年度応募用]研究会Aで、2限と4限の両方を受け付けます。 選考は、応募者に対して4年生数名が主体となってZoomで面接しますので、自己紹介と志望理由について、合計3分でスピーチしてください。面接の日は、応募〆切の後、数日以内にHoppiiに掲示しますので、必ず確認して下さい。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						
オープンゼミは、複数回実施します。参加を希望される方は、前日までに、私まで、学籍番号と氏名、参加を希望する日と時限をメールでお知らせ下さい。						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0213	
テーマ	職業生活を通して労働環境を考える					
担当者	長峰 登記夫	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木 曜日 5限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース ローカル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
授業のテーマに沿った学習を通して、情報収集の方法や勉強の仕方、成果の発表、それらを通じた議論の仕方等を学びます。また、発表の際のレジュメの作成や最終的なレポート作成等一連の作業を通して、私たちが卒業後にかかわる仕事や労働環境のあり方について考え、物事を論理的に考えられるようになることを目標にします。			テーマは「職業生活をとおして労働環境を考える」。具体的には就職や就職後の労働環境、賃金、労働時間、教育訓練、昇進、女性雇用、労働組合、非正規雇用、グローバル人材等について学ぶなかで、労働環境について考えます。			
授業の進め方						
基礎知識を身につけるため、前期は基本的な文献の読み合わせをします。この文献の読み合わせは学生の報告を中心に行います。前期の勉強をベースに、後期は学生が自分でテーマを設定して勉強を進め、その結果を授業内で発表し、最終的にはレポートにまとめます。そして、 <u>4年次</u> には修了論文を書くことを目標にします。なお、授業では課題を出します。						
学生の皆さんへのメッセージ						
会社や仕事について抱いていたイメージが就職の前後で異なる、それはいつの時代でも起こることです。IT時代の情報過多が原因か、そのズレは大きくなっているようです。そうしたことを少しでもなくすため、職業生活のなかで起こりうることを、雇用に関連して学びます。もちろん実際に社会に出て働いてみないとわからないこと、実感できないことはたくさんあるでしょう。職業や仕事について学び、考えることによって、そのズレを最小限にとどめられれば、学生生活から職業生活への移行がよりスムーズにいくかもしれません。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
報告が当たっていないときでも、授業で使う基本文献は全員が事前に読んで、疑問点などをメモします。授業終了後は授業での議論を整理し直し、理解できなかった論点などメモをして、次の授業に備えます。			成績評価は、1 レポート、2 レジュメの出来、3 レジュメを使った授業での発表、 4 授業中の議論への参加度等により総合的に行います。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新3年生限定					
長峰は 2022 年度末で退職します。それを了解の上で応募する場合、新3年生を数名受け入れます。希望者が募集予定人数を越えた場合は選抜を行います。選抜方法については、学習支援システムに掲載しますが、 <u>労働環境論 I・II を履修済みの者を優先</u> します（「志望調査票」には必ず履修済みか否かを明記してください。記載がない場合は履修していないものとみなします）。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	無					
説明会開催有無	無					
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0215	
テーマ 地域環境への歴史的アプローチ						
担当者		根崎 光男	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月 曜日 4 限
関連するコース		ローカル・サステナビリティコース、人間文化コース				
授業の到達目標			授業のテーマ			
環境史の学習を通じて研究テーマを見つけ、それを深めるための調査・研究方法を学び、研究成果をまとめる。これにより、情報収集能力、プレゼンテーション能力、質疑・応答能力を養う。			日本全国の各地域は、それぞれ地理的景観も歴史や文化も異なる。各地域の自然・地理・歴史・生活・文化などの風土の特質を探り、新しいまちづくりを考える。これは歴史の持続可能性を考えることでもある。			
授業の進め方						
このゼミは歴史をベースに、さまざまな地域環境にかかわる課題を考えていく研究会です。授業は、グループ研究や個人研究に基づく発表や質疑応答を通して知識を深め、資料(地域環境にかかわる活字資料・古地図・古文書など)の講読、古地図を携えて大学周辺の史跡散策などを通して新しい知見に触れ、論理的な組み立てを考える。これらを通して、収集したデータを読解・分析し、研究を深める。これらを積み重ね、「研究会修了論文」として結実させていく。						
学生の皆さんへのメッセージ						
本研究会では、まずメンバー個々に個人的に興味のある研究テーマを考えてもらいます。そこで、地域の実態を知るために歴史や文化を調べ、調査対象のフィールドに出かけて地域の特色を探り、また大学内外において文献を収集し、地域にかかわる知見を得て研究を深めていく。研究会メンバーには、歴史・文化を踏まえた各地域のまちづくり、各地にある祭りや文化遺産の保全や課題、古代～近代にみられる生活・自然にかかわる環境史を研究している学生が多数います。歴史や文化を踏まえて、さまざまな環境問題を考えたい学生の応募を望んでいます。						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
配付資料の読解・分析、個人研究の文献収集・分析を行う。 フィールド調査、ゼミ合宿(学生による候補地選定)を行う。 研究レポート・研究会修了論文の作成を行う。			授業時の学業姿勢などの平常評価のほか、発表・レポートの内容などを総合的に評価する。			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年		新2・3年生				
<p>○応募者は可能な限り、受け入れます。ただし、教員(ゼミ生同席の可能性あり)による Zoom 面接をおこなう予定です。面接の日時については、学習支援システムを通じてお知らせするので確認してください。</p> <p>○応募者が少ない場合、第1次受講者を決定したうえで、学習支援システムにて追加募集のお知らせをします。</p> <p>○本研究会にかかわる諸行事(ゼミ合宿・歓送迎会・史跡探索など)に積極的に参加できる学生を求めています。</p> <p>○熱意のある学生を受け入れたいので、志望調査票にその熱意をしっかりと記入してください。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無		有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は、学習支援システムに仮登録して確認してください。また研究会紹介の冊子にも記載されています。			
説明会開催有無		有				
備考						
<p>オープンゼミ：10月26日(月)、11月2日(月)、11月9日(月)、11月16日(月)、いずれも4時限の時間帯です。</p> <p>説明会(相談会)：10月26日(月)、11月2日(月)、いずれも午後8時～9時に開催します。</p> <p>本研究会に関する質問は、次のメールアドレス(nesaki@hosei.ac.jp)に連絡してください。</p>						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0216	
テーマ	SDGs 時代に社会から選ばれる企業とは何か					
担当者	長谷川 直哉	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 3限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース ローカル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
2・3 年生でチーム(4~5 名)を編成し、日経ストックリーグに参加します。春学期は、SDGs に関するグローバルトレンドと企業との関係について学びます。秋学期からは企業訪問などのフィールド調査を行って、サステナビリティ社会で必要とされる企業 20 社を選定しレポートを作成します。			SDGs やパリ協定の登場によって、企業を取り巻く環境は激変しています。社会人になる前に「良い企業、良い社会、良い働き方」とは何かという問いに対する回答を見出すため、企業と社会の関係性を学びます。			
授業の進め方						
春学期は SDGs や脱炭素を中心に企業と社会をテーマにした文献や論文を購読し、日経ストックリーグでの活動に必要な経営学や金融経済の知識、論理的思考法、ディベート力を養成します。秋学期はチーム毎にサステナビリティ報告書と財務データの分析や企業訪問・外部有識者と面談を行って、上場企業約 3,700 社の中から SDGs 時代にふさわしい企業 20 社を選定しポートフォリオを組成します。Aゼミ(火・4限)応募者はBゼミ(火・5限)にも参加すること勧めます。また、ゼミでの学習やフィールド調査から得た成果をまとめて、学外の論文コンテストや日経ストックリーグに応募します。						
学生の皆さんへのメッセージ						
2021 年度はゼミ創設 10 周年を迎えます。ゼミの研究成果を基に毎年応募している日経ストックリーグでは、最優秀賞&金融大臣賞を受賞し、2011 年のゼミ創設以来 9 年連続入選を果しました。日経ストックリーグの成果をさらに発展させて応募する住友理工(株)小論文コンテストでは、最優秀賞(賞金 100 万円)をはじめ毎年入賞しています。このゼミでは、①知識を習得するだけでなく、未知の問いに対する答えを追求しようというチャレンジ精神のある人、②社会に通用する人間力[意欲×能力×コミュニケーション力×人柄×健康]を養成したい人を歓迎します。						
授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)			成績評価基準			
企業訪問調査やサブゼミ(火・3限)をゼミ以外の時間帯に実施します。コロナウイルスの感染状況が改善した場合は、夏休みにゼミ合宿(奄美大島または北海道)を行います。			成績評価は加点主義で、平常点(研究会活動への貢献度)、日経ストックリーグレポート、外部論文コンテスト、卒業論文等に対する取り組み姿勢を総合的に評価します。			
募集にあたってのお知らせ (選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2・3年生					
<ul style="list-style-type: none"> ・志望調査票に記載された志望動機とオンライン面接による選考を行います。 ・新 2・3 年生は日経ストックリーグへの参加、新 4 年生は研究会修了論文の作成を必須とします。 ・A ゼミ希望者は B ゼミにも参加することを勧めます。(B ゼミにも志望調査票を提出して下さい。) ・後日面接の連絡をしますので、志望調査票には必ず連絡の取れるメールアドレスを記載してください。 ・合格者は「現代企業論」「ビジネスストーリー」「CSR 論 I」「CSR 論 II」を必ず履修して下さい。 						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0217	
テーマ	子規を読む					
担当者	日原 傳	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 4限	
関連するコース	人間文化コース ローカル・サステイナビリティコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> ・子規を中心にした人々の豊かな人間関係を知る。 ・俳句、短歌、漢文脈の文献に親しむ。 ・明治時代の旅の実態について理解を深める。 ・文章を書く力を高める。 			<ul style="list-style-type: none"> ・子規の書簡、紀行文、評論、随筆等を読む。 ・子規と交友のあった人々の作品をあわせ読む。 ・子規たちが受けた近代初期の教育について考える。 ・各自研究テーマを設定してレポートや論文を執筆する。 			
授業の進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・最初の時間に今年度使用するテキストについて説明する。以後は、テキストを輪読してゆく。春学期は子規と漱石の往復書簡、秋学期は子規の紀行文を扱う予定である。 ・各自が執筆するレポートや論文の構想、進捗状況を発表し、質疑応答する機会も設ける。 						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>正岡子規は夏目漱石と明治 22 年(1889)に高等中学校の同級生として出会い、親交を結びました。それは明治 35 年(1902)に子規が亡くなるまで続きました。子規と漱石の交わした書簡を読むと、その交友の実態がよくわかります。また、子規は当時の人々が感染を恐れた結核に罹り、後半生をほとんど病床で過ごしました。その子規のもとには多くの人々が訪れ、「子規山脈」と呼ばれる豊かな人間関係が形成されました。子規の人間としての魅力によるものでしょう。子規山脈の人々が残した文献を読み、その魅力の一端に触れたいと思います。</p>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
次回読む文献を下読みし、分からない言葉・事項について調べたうえで授業に参加する。			平常点（授業への参加態度、発表内容）70% 最終レポート30%			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2-4年生					
<ul style="list-style-type: none"> ・志望者が多く選抜が必要な場合は、「志望調査票」によって選抜します。 ・Bゼミとの掛け持ちを認めます。 						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有・ <input checked="" type="radio"/>	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有・ <input checked="" type="radio"/>					
備考						
内容についての更なる説明を希望する人は、担当者にメール（アドレスは履修の手引き参照）等で問い合わせてください。						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0218	
テーマ	地域の文化を考える					
担当者	平野井ちえ子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 4 限	
関連するコース	ローカル・サステナビリティコース 人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
地域に暮らす人々の生活とそれぞれの土地に固有の文化活動との関わりを理解する。基本的な知識と方法論を身につけた後、とくに自信をもって語れる得意ジャンルまたはエリアをもつこと。			地域の文化、主に舞台芸術を切り口として、日本の文化政策・アートマネジメントの現状を考える。			
授業の進め方						
春学期の前半は、日本の伝統芸能・民俗芸能・現代演劇・前衛的パフォーマンスなどの流れに親しむため、文献や映像資料による講義・ディスカッションを行います。春学期の後半は、受講者各自に舞台鑑賞レポートの作成と発表を求めます。 秋学期は、文化政策や劇場建築の基本書を輪読した後、劇場／芸能の「場」に関する受講者各自のケーススタディを指導します。						
学生の皆さんへのメッセージ						
文化というソフトウェアから地域を考える研究会なので、人文系の学問、とくに舞台芸術・身体表現・比較文化・コミュニケーションなどに関心のある人の参加を期待します。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
文献講読の予習（発表者はレジュメまたはパワーポイントの準備） 舞台鑑賞と劇場調査（レポート作成）			参加態度・授業への貢献度、口頭発表、レポートなどから総合的に評価します。口頭発表は、テキスト輪読分とレポート（舞台鑑賞＋劇場調査）分とします。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新 2～3 年生					
<ol style="list-style-type: none"> これまで舞台芸術にふれたことのある方は、鑑賞（または実演・企画）の経験を、志望理由書に書いて下さい。 文化政策、アートマネジメント、フィールドワークに関する文献を読んだことのある方は、その書名・論文名などを、志望理由書に書いて下さい。 						
選抜方法は、志望理由書とグループ面接です。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						
以下、予定です。 オープンゼミ1回目:11月12日(木)4限 説明会1回目:同日5限 オープンゼミ2回目:11月19日(木)4限 説明会2回目:同日5限						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0219	
テーマ	環境本を読む					
担当者	藤倉	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	金曜日3限	
関連するコース	全てのコースが対象					
授業の到達目標			授業のテーマ			
環境などに関係する書籍を多数読むことで読書力を養うとともに、環境に関する基礎知識を広げ、4年生の12月までに卒業論文を書く。			年間10冊以上読む。			
授業の進め方						
<p>おおむね2週に1冊指定された本を読み、その書評を期日までに授業支援システムに提出し、プレゼンテーションをしてもらいます。書籍は各自が購入するか図書館から借りるかなどして、自力で調達してください。</p> <p>これと並行して、各自の体験などを基本にして関心を有する研究テーマを決め、それについて卒業論文を書くことを目指します。毎回の授業では、交代で研究の進捗状況を報告し、情報交換しながらメンバー間で議論します。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>読書には1冊の本をじっくり読む精読と、多くの本をどんどん読み進める多読とがあります。本研究会では読書する機会が少ない人に後者を実践してもらうための場であり、幅広い知識を習得する機会でもあります。また、特定の職業は別として、一万字を超えるまとまった文章を書く機会はありません。容易ではない知的格闘技ですが、完成したときの達成感は貴重な経験になります。</p> <p>飲み会や小旅行などの実施はゼミ生のイニシアチブで実施してください。私も予定が合う限り参加します。</p>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
指定された本を読み、書評を書くこと。			提出された書評の本数とプレゼンテーションによって評価します。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	社会人新2～4年生					
志望理由には当ゼミを希望する動機の外に、これまで印象に残った本について書名と感想を書いて、提出締切日までに提出してください。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	無	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード			AA0220	
テーマ	地球温暖化とその周辺				
担当者	松本倫明	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5限
関連するコース	環境サイエンスコース ローカル・サステイナビリティコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
地球温暖化とその周辺について理解を深めます。地球温暖化とその関連する領域について事実やデータにもとづいて客観的に定量的に解析し、考察する力をつけます。また環境に関する幅広い知見も得ます。			「地球温暖化とその周辺」 地球環境／地球温暖化対策／省エネ／エネルギー問題／エコ技術／環境科学／科学コミュニケーションなど、地球温暖化をキーワードに幅広いテーマを扱います。		
授業の進め方					
<p>「環境速報」（通年）…環境に関するニュースをレポーターが発表し、みんなで考えます。環境に関する幅広い知見を得ることが目的です。</p> <p>「グループワーク」（逐次）…特定のテーマについてグループで研究します。学外調査や文献の輪講なども行います。</p> <p>「研究報告」（後期）…個人の研究の進捗状況を発表し、議論します。</p> <p>「報告書」（年度末）…1年間の成果をまとめた報告書を提出します。4年生は研究会修了論文を提出します。必要に応じてサブゼミを火曜6限に行います。上記の他に親睦会や夏合宿が行われます。他大学と合同イベント（合同ゼミなど）を開催する予定です。</p>					
学生の皆さんへのメッセージ					
<p>ゼミの運営はゼミ生を尊重します。やりたいことなど、いろいろな意見を提案してください。</p> <p>研究テーマの選択についてもゼミ生の意向を尊重します。研究テーマの選択では、必ずしも上記の「授業のテーマ」の枠内に捕われる必要はありません。幅広くとらえてください。</p> <p>ゼミ活動をツイッターで発信しています！ https://twitter.com/hosei_matsumoto</p>					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
環境速報・グループ発表、研究報告などのレポーターにあたった場合には、発表の準備をしてください。学外で調査を実施することがあります。			ゼミへの参加姿勢、発表と議論の姿勢、年度末報告書にもとづき総合的に判断します。		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2年生・3年生				
志望理由書と面接にもとづき選抜します。面接を11/24の5限に予定しています。面接には現ゼミ生が同席する場合があります。詳細は学習支援システムをご覧ください。					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	ともに11/10と11/17の5限に実施する予定です。オープンゼミ・説明会の情報			
説明会開催有無	有	詳細は、学習支援システムに仮登録して確認してください。			
備考					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード	AA0221			
テーマ	21世紀を健康に生きていくために				
担当者	宮川 路子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月 曜日 3 限
関連するコース	環境サイエンスコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
<p>テーマは学生により異なるが、担当する学生は、毎回発表において問題提起を行う。いかに的確な問題提起を行うかは研究テーマへの深い理解を必要とする。参加学生全員による積極的なディスカッションを通じてテーマの理解を深めることを目的としている。また、学生はプレゼンテーションについてのスキル（文献収集や調査、わかりやすいレジュメの作成、パワーポイントの作成、人前での発表、適切な問題提起と他の学生の意見を交えての最終的なコメント提供など）、グループディスカッションを通じて、議事進行、意見のまとめと発表、発言力、コミュニケーション力を身につけることが可能となる。</p>			<p>ストレスに満ち溢れた現代社会においては、自殺者の数が1998年から14年連続で3万人を超えていた。現在は減少傾向にあり、2019年度は2万人を切っているものの、若者の自殺者数は減少しておらず、メンタル面での障害を抱えながら生きている人の数は非常に多い。就労形態の多様化、過重労働、ワークライフバランスの問題など、就労環境におけるストレスも移り変わりながら増加している。不規則な生活などにより生活習慣病に罹っている人の割合も多く、私たちが肉体的、精神的に健康に生きていくためにはさまざまな障壁がある。さらに、めまぐるしく移り変わる医療をめぐる環境においては、氾濫する情報を的確に取捨選択して自己の健康管理を行うことが求められる。学生が将来社会に出て、働きながら健康を維持し、健康寿命を延長して長寿をめざすための知識を得ることを目的としている。さらに、コミュニケーション能力、発言力、ディスカッション能力を高めることにより、職場における最大のストレス要因である人間関係を円滑に保つことができる能力を取得する。</p>		
授業の進め方					
<p>本研究会では、健康、医療、生命倫理関連のテーマについて幅広く焦点を当て、学生の自主的なテーマの選択、調査研究により発表を行う。1年に2回の発表であるが、同じテーマについて掘り下げて研究し、より完成度の高い調査発表を行い、最終的に卒論としてまとめることを目標にしている。少人数制のゼミであり、通常の講義では難しい細やかな学習により学生の能力を高める。</p>					
学生の皆さんへのメッセージ					
意欲のある人を募集します。					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
<p>日頃から健康関連のニュースに関心を持ち、新聞を読む。気になるテーマがあれば、さらに関連図書をよむ。自分自身の意見を持てるようによく考えること。</p>			<p>春学期、秋学期にそれぞれ一回ずつの発表を行います。その際のレジュメ、発表内容、参加意欲および参加態度により評価を行います。</p>		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2年生。選抜方法は、志望理由書と、面接によります。				
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	有				
備考					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード	AA0222			
テーマ	21世紀を健康に生きていくために				
担当者	宮川 路子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	月 曜日 4 限
関連するコース	環境サイエンスコース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
<p>テーマは学生により異なるが、担当する学生は、毎回発表において問題提起を行う。いかに的確な問題提起を行うかは研究テーマへの深い理解を必要とする。参加学生全員による積極的なディスカッションを通じてテーマの理解を深めることを目的としている。また、学生はプレゼンテーションについてのスキル（文献収集や調査、わかりやすいレジュメの作成、パワーポイントの作成、人前での発表、適切な問題提起と他の学生の意見を交えての最終的なコメント提供など）、グループディスカッションを通じて、議事進行、意見のまとめと発表、発言力、コミュニケーション力を身につけることが可能となる。</p>			<p>ストレスに満ち溢れた現代社会においては、自殺者の数が1998年から14年連続で3万人を超えていた。現在は減少傾向にあり、2019年度は2万人を切っているものの、若者の自殺者数は減少しておらず、メンタル面での障害を抱えながら生きている人の数は非常に多い。就労形態の多様化、過重労働、ワークライフバランスの問題など、就労環境におけるストレスも移り変わりながら増加している。不規則な生活などにより生活習慣病に罹っている人の割合も多く、私たちが肉体的、精神的に健康に生きていくためにはさまざまな障壁がある。さらに、めまぐるしく移り変わる医療をめぐる環境においては、氾濫する情報を的確に取捨選択して自己の健康管理を行うことが求められる。学生が将来社会に出て、働きながら健康を維持し、健康寿命を延長して長寿をめざすための知識を得ることを目的としている。さらに、コミュニケーション能力、発言力、ディスカッション能力を高めることにより、職場における最大のストレス要因である人間関係を円滑に保つことができる能力を取得する。</p>		
授業の進め方					
<p>本研究会では、健康、医療、生命倫理関連のテーマについて幅広く焦点を当て、学生の自主的なテーマの選択、調査研究により発表を行う。1年に2回の発表であるが、同じテーマについて掘り下げて研究し、より完成度の高い調査発表を行い、最終的に卒論としてまとめることを目標にしている。少人数制のゼミであり、通常の講義では難しい細やかな学習により学生の能力を高める。</p>					
学生の皆さんへのメッセージ					
意欲のある人を募集します。					
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準		
<p>日頃から健康関連のニュースに関心を持ち、新聞を読む。気になるテーマがあれば、さらに関連図書をよむ。自分自身の意見を持てるようによく考えること。</p>			<p>春学期、秋学期にそれぞれ一回ずつの発表を行います。その際のレジュメ、発表内容、参加意欲および参加態度により評価を行います。</p>		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）					
募集対象学年	新2年生。選抜方法は、志望理由書と、面接によります。				
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は 学習支援システムに仮登録して確認してください。			
説明会開催有無	有				
備考					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。
同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A	学習支援システム応募用授業コード				AA0223
テーマ	環境政策と企業活動				
担当者	横内 恵	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 4限
関連するコース	ローカル・サステナビリティコース、サステナブル経済・経営コース				
授業の到達目標			授業のテーマ		
(1) わが国の環境法政策について、 基礎的な知識や考え方を習得する。 (2) 受講者各自で設定した研究テーマについて、 よく調べて発表し、皆で議論し、理解を深める。 (3) 4年次に研究会修了論文を執筆・提出する。			地球規模から日常生活レベルまで、様々な次元で環境問題が深刻化しています。(例えば、地球温暖化、リサイクル、絶滅危惧種。特に最近のトピックとしては、海洋プラスチックごみや、深海資源開発・深海生態系保護など。) こうした中で、企業活動がどのような環境法政策によって規制・誘導されているのか、私たちの生活がどのように影響を受けているのか、といったことを、みなさんと一緒に調べて考えていきたいと思ひます。		
授業の進め方 (コロナ禍の状況次第で変更する可能性があります)					
<ul style="list-style-type: none"> ■ 2・3年生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 春学期 : ゼミ全体を縦割りで複数のグループに分けて、グループごとに研究テーマを決めてもらい、グループワークで調査・研究発表をしてもらいます。(先輩・後輩の共同作業です。) ・ 秋学期 : 個人の研究テーマを決めて、学期中に1回、研究報告をもらいます。 ■ 4年生には、2・3年生のグループワークにも少し関わってもらいますが、自分自身の研究会修了論文を書き進めることに優先して取り組んでいただきます。 ■ 日帰りゼミ実習として(可能ならば合宿として)、豊かな自然に触れたり施設見学をしたりする機会も用意する予定です。 					
学生の皆さんへのメッセージ					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味のあるテーマをみつけて、研究に取り組んでみましょう。大学生活がさらに有意義なものになると思ひます。 ・ 研究と向き合うことを通して得た考え方やスキルは、その後の人生においても役立つはずでず。 ・ ゼミの雰囲気は、そのときどきのゼミ生のみなさんによって決まっています。 <p style="text-align: center;">楽しいゼミをみんなと一緒に作り上げていこう、というような思いをもってゼミに参加して頂けたらと思ひます。</p>					
授業外で行うべき学習活動 (準備学習等)			成績評価基準		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各回の報告担当者には、入念に報告準備をして頂きます。 ・ 課題の提出を求めることもあります。 			総合評価 (ゼミ内での研究発表、参加姿勢、課題提出等による)		
募集にあたってのお知らせ					
募集対象学年	新2年生 (場合によっては、新3・4年生も受け入れます。)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 主に新2年生を募集します。(新3・4年生も受け入れ可能な場合もありますので、応募前に一度ご相談ください。) ・ 募集人数は、最大で10名程度の予定です。 ・ 応募者ご自身のご意向とこのゼミの方針とが合っているか等を確認するために、なるべく応募者全員と面接を行う予定です。募集締め切り直後に、Eメールにてご連絡いたします。 ・ 面接日程は、11月25～27日です(※あくまでも現時点での予定です)。 					
オープンゼミ・説明会					
オープンゼミ開催	有	10月27日、11月10日、11月17日の4限に「オープンゼミ」を、また、同日6限頃に「説明会」(募集相談会)を、ZOOMにて実施する予定です。お気軽にご参加ください!!			
説明会開催	有	(※ 情報詳細は、必ず、学習支援システムに仮登録して確認してください。)			
備考					
ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく担当教員にお問い合わせください!! (E-mail: m-yokouchi@hosei...)					

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0224	
テーマ	人間活動の特徴理解から社会を考える					
担当者	渡邊 誠	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 5 限	
関連するコース	環境サイエンスコース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>「人」と「環境」の関連性について幅広く考察し、環境問題の論点や視点の持ち方を学びます。特に社会に内在する廃棄物、リサイクルあるいはエネルギーなどに関する諸問題を人間活動の特徴とともに考察します。ここでは、このような問題に対する政策を地球という自然システム概念を含めて多角的に考える力を身につけることを目標としています。各種資料・文献等の読み合わせや調査および検討などの体験を通して、自分の意見をしっかりと持ち、説得力のある表現(プレゼンテーション)ができるようになることを目指しています。</p>			<p>著書・文献の読み合わせを行うことにより、社会的諸問題を眺めます。テーマ例としては、CO₂ の排出と温暖化対策、プラスチックの排出と海洋汚染対策、再生可能エネルギーの可能性と政策、などがあります。現在千代田区が進めている地球温暖化対策とその有効性についても考察する予定です。科学技術と社会の関連性を考えることも重要なテーマのひとつとしています。この他、参加者が関心を強く持っている内容についてもテーマとして取り上げる予定です。</p>			
授業の進め方						
<p>まず、著書、文献等の読み合わせからスタートします。これにより本研究会で必要としている基礎について修得し、研究を遂行するための準備を行います。また、特定のテーマを定め、それに関連する内容について様々な角度から話し合いを行うことにより、問題を深く掘り下げます。これにより環境問題の特徴や性質を知り、様々な分野の内容を結びつけながら問題解決へ向けて考えようとするセンスが養われます。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>本研究会は文系の立場から社会の持続という問題を考えるものです。文と理の融合とは何か?ということ深く考えたい方にとっても有効な内容です。年間を通して幅広い具体例に接し、人間活動によって生起する様々な問題の構造やメカニズムについて考察します。それらを総合化して「人」と「環境問題」との接点を見つめていきたいと考えています。4年生は「研究会修了論文」(通称、卒論)を提出することにしてあります。授業では、そのための中間報告、最終報告なども含まれています。</p>						
授業外で行うべき学習活動(準備学習等)			成績評価基準			
<p>毎回、予習・復習することが必要です。書籍、文献等の検索や内容把握、報告の準備などを行います。</p>			<p>ゼミ参加の積極性 50%、レポートなどの提出物の充実度 50%とします。</p>			
募集にあたってのお知らせ(選抜方法・その他)						
募集対象学年	新2・3年生					
<p>選抜に際してZoomにて面接を行う予定です。連絡事項は学習支援システムに掲載しますので、注意して見てみてください。</p>						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	<p>オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。</p>				
説明会開催有無	無					
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0225	
テーマ	身体と医療の社会学					
担当者	佐伯 英子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 3限	
関連するコース	ローカル・サステイナビリティコース、人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>1. 身体や医療を社会的観点から捉えることにより新しい知見を得る。</p> <p>2. 各自が設定した研究テーマに沿って調査を行い、卒業時には、研究会修了論文を提出する。</p>			<p>本研究会では「身体社会学」の中から医療、ジェンダー、生命倫理に焦点を当てて理解を深めます。2021年度は医療をテーマとし、「正しい」とされる身体とは何か、身体と社会的多様性はどのような関係があるのか、そして身体の社会的側面を考える際に医療はどのような役割を担うのか、を考えます。</p>			
授業の進め方						
<p>春学期は文献講読を中心に進めます。文献や資料は英語と日本語で書かれたものが約半分ずつになります。秋学期は個人研究のためのワークショップと発表を中心に行います。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>近年、社会科学分野における「身体」の研究は著しい発展を遂げています。それは、身体を理解する上で社会的、文化的、歴史的なアプローチが欠かせないからです。また、「医療」は身体の在り方考える際に欠くことができないものです。本研究会では生命倫理で問題となる、簡単には答えの出ない問いに取り組みます。積極的に考え、意見交換に参加してください。また、英文の文献の講読や課題や授業で英語を使うこともありますが、間違いを恐れずに挑戦してください。高いレベルの英語力は必須ではありませんが、授業の内容の理解と共に英語力を高める意欲を期待しています。</p>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
<p>毎週課題となる文献を読み、ディスカッションに備え、質問や意見を用意してきてください。また、個人研究として各自がテーマを決めて調査と発表をすることが求められます。</p>			<p>授業中の発言、発表内容、課題への取り組み等から総合的に判断します。</p>			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2・3年生（10人程度）					
<ul style="list-style-type: none"> - 本研究会参加の1年目には研究会B「質的社会調査」も同時履修することを強く推奨しています。 - 秋学期に開講される現代社会論Ⅲの履修も推奨しています。 - 「研究会志望調査票」の内容と面接を元に選抜します。面接のスケジュール、可否の結果については、学習支援システムのお知らせ機能を使って発表します。 - 本研究会は、4年次での研究会修了論文提出を必須とします。 						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は				
説明会開催有無	有	学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						

2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0226	
テーマ	「地域の経済」を考える					
担当者	湯澤 規子	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	火曜日 3限	
関連するコース	サステイナブル経済・経営コース			ローカル・サステイナビリティコース		
授業の到達目標				授業のテーマ		
①自らの「問い」を立て ②主体的に調べ（フィールドワークや資料収集・分析） ③リサーチペーパーの作成（2,3年生） ④卒業論文の作成（4年生）				この研究会では「地域の経済」を様々な視点から考えます。日常生活の中にある身近なことを出発点とし、課題を見つけ、それを広い視野から議論していきます。		
授業の進め方						
Step1: 「地域の経済」に関する文献の精読とグループ報告 Step2: ミニフィールドワーク Step3: 春学期前半に取り組んだ文献講読などをもとに、グループごとに「問い」を立て、調査計画を作成 Step4: グループごとの調査報告 Step5: 個人テーマの決定と調査計画の作成						
学生の皆さんへのメッセージ						
◆どんな小さなことでも、自分自身の問題意識や好奇心にもとづいた「問い」を立ててみてください。 ◆その「問い」を頭の片隅に置きながら日々を過ごすと、今まで見えなかったものが見えたり、気にならなかったものが気になったりしてきます。時には実際にそれを確かめるために、現場に行き、経験してください。 ◆その「発見」、「違和感」、「経験」を自分以外の誰かに伝え、一緒に考える場が研究会です。 ◆侃侃諤諤（かんかんがくがく）、伸び伸びとした「共考」の場にしていきましょう。						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）				成績評価基準		
・興味関心に関わる情報を様々な視点から集める（文献、地図、写真、映画、小説、現地調査・・・） ・発表の準備（データの整理、レジュメの作成など） ・研究テーマにかかわる様々な体験をする				研究会への参加、発表、質疑応答、討論などを総合的に評価します。		
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2年生を中心に10名程度。新3年生は若干名。					
参加希望者は、①どのような問題関心を持ってゼミを志望しているのか、②人と接するうえで大切にしていること、③自分の住んでいる地域や身近な食の問題をできるだけ具体的に、志望調査票に記入して提出してください。調査票の内容にもとづいてオンライン面接を実施しますので、学習支援システムの「お知らせ」情報に注意してください（同じ内容をメールでも配信します）。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミの時に簡単なゼミ説明を実施します。				
説明会開催有無	有	情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。				
備考						
◆オープンゼミは10月27日(火)3限、11月10日(火)3限 ①13:00～13:30 研究進捗報告(通常ゼミ)、②13:40～14:40(説明会) →①②どちらでも、いずれかでも参加できます。 質問は随時受け付けています「湯澤ゼミ Line」→ゼミ説明会の Zoom ID とパスワードは学習支援システムの「お知らせ」を確認してください。						



2021 年度研究会募集要項

研究会Aを新たに希望する学生は、必ず応募を行ってください。

同一の研究会Aを継続履修希望する学生は、応募は必要ありません。担当教員の指示に従ってください。

A		学習支援システム応募用授業コード			AA0227	
テーマ	アメニティマップから考える「都市の環境倫理」					
担当者	吉永明弘	開講期	通年	※変更可能性有 曜日時限	木曜日 2限	
関連するコース	ローカル・サステナビリティコース 人間文化コース					
授業の到達目標			授業のテーマ			
<p>(1) マップを作成する過程で地域を観察、分析する能力を身につける。(2) 文献購読を通じて環境倫理学や環境問題の知識を身につける。(3) レポートをまとめた冊子をつくることによって、基礎的な文章力と本づくりのノウハウを習得する。</p>			<p>(1) アメニティマップをつくって地域を観察・分析する。 (2) 文献購読を通じて環境倫理学・環境問題を学ぶ。 (3) レポートを冊子にまとめる。</p>			
授業の進め方						
<p>(1) アメニティマップづくり。街歩きをしてマップにまとめ、発表する。 (2) 環境倫理学や環境問題の文献を読み進める。 (3) レポートを提出し、相互に添削した上で、冊子にまとめる。</p>						
学生の皆さんへのメッセージ						
<p>このゼミには二つの焦点があります。一つは「アメニティマップ」。もう一つは「環境倫理学」です。「アメニティマップ」は、地域環境の保全やまちづくりについて具体的に考えるためのツールです。身近な地域を歩いて、良いところ・悪いところを地図上に表して議論します。「環境倫理学」は環境問題について倫理学の立場から考える分野です。こちらは文献購読が中心です。哲学・倫理学だけでなく、社会学、保全生態学、都市論などの本を多くとりあげます。さらに、ゼミの成果は冊子にまとめます。そこで本格的な本の作り方を覚えることができるでしょう。まちあるき、読書、本づくりに興味のある人の参加を求めます。</p>						
授業外で行うべき学習活動（準備学習等）			成績評価基準			
まち歩き、マップ作り、レポート制作を授業外で行うことが必須である。			作成されたマップ、発表、文献購読への参加、レポート作成、本づくりへの参加によって評価する。			
募集にあたってのお知らせ（選抜方法・その他）						
募集対象学年	新2～4年生（10人程度）					
Zoomで面接を行い決定します。日時などはメールで連絡します。結果もメールでお伝えします。						
オープンゼミ・説明会						
オープンゼミ開催有無	有	オープンゼミ・説明会の情報詳細は学習支援システムに仮登録して確認してください。				
説明会開催有無	有					
備考						